

- 古賀駅西口周辺整備方針に示した整備の実現に向けて、社会実験による効果・検証を踏まえ、整備計画をブラッシュアップする。以下に方針→社会実験→整備との関係を示す。

【エリアの交通方針】

『駅前広場の再整備』

・通過交通の抑制と、歩行者ネットワークにつながる歩行環境に配慮した駅前広場を再整備する。

『シェアスペースによる回遊性向上』

・歩行者優先の設えにより、自動車速度を抑制し、歩行者が安全に回遊できる道路空間を目指す。

『シンボル空間軸の創出』

・古賀駅西口への自動車のメインアプローチであるとともに、来訪者のまちなか回遊の起点となるシンボル空間軸を創出する。

『多様な賑わいによる回遊性向上』

・沿道の空き地や空家を積極的に活用し、多様な賑わいを創出することで回遊性の向上を図る。

『まちかどの魅力向上』

・歩行者ネットワークの交点では、歩行者が滞留したり楽しんだりできる機能を配置し、まちかどの魅力向上を図る。

【社会実験の基本的な考え方】

交通社会実験

- 駅前広場整備につながる駅前広場の交通パターンの実施
- 通過交通を抑制する交通体系の実施
- 歩きやすい歩行者動線

効果検証

- ・自動車交通量
- ・歩行者実態
- ・アンケート 等

沿道利活用社会実験

- ・まちかどの魅力向上を中心とした機能配置、賑わい創出による回遊性の向上
- ・地元事業者等との連携による沿道空間の利活用

効果検証

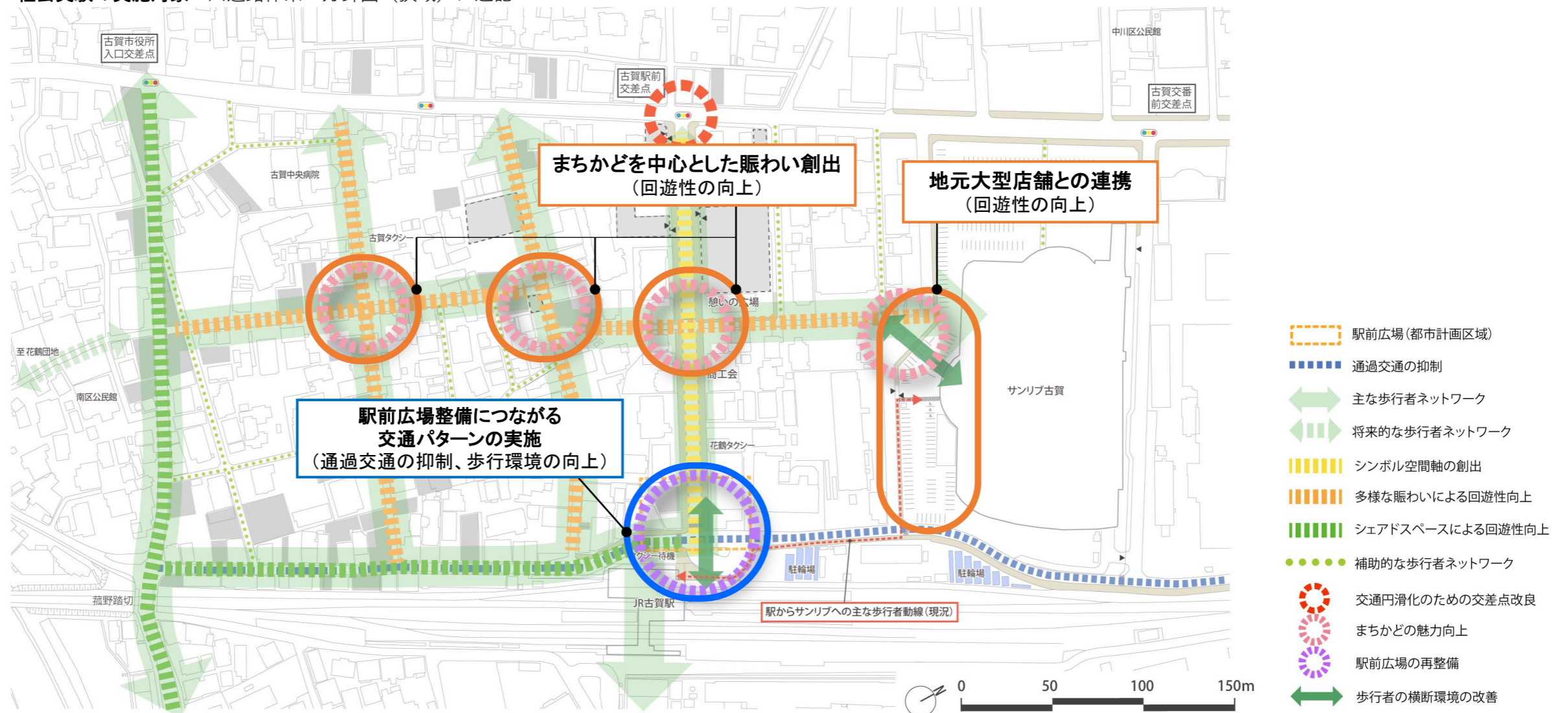
- ・歩行者実態
- ・利用者アンケート
- ・参加事業者アンケート 等

【成果を活かした取組】

- ・駅前広場の計画・整備
- ・交通体系見直し
- ・歩行者優先の道路空間の計画・整備

- ・まちかど空間の整備
- ・空地・空家の利活用
- ・地元事業者等と連携した取組の継続

社会実験の実施対象 ※道路体系の方針図（狭域）に追記



沿道利活用社会実験 (11/25予定)

まちかどの賑わい創出

・整備基本方針で示す重要となるまちかどを中心に、賑わい創出のためのイベントや環境構築を実施する。

○地元事業者と連携した出店・企画

・まちかどの賑わいづくりのために、地元事業者や活動団体と連携し、出店やイベント等の活動を実施。

○快適性を向上する設え

・来訪者やイベント参加者に快適に時間を過ごしてもらうために、ベンチ、テーブル、人工芝等を配置し、環境を構築する。

まちかどへ人を誘導する賑わい・設えづくり

・駅からまちかどへ歩行者を誘導するために、賑わいをつなぐ沿道の利活用や設えづくりを検討する。

○周辺店舗との連携、駐車場等の活用

・沿道の店舗や駐車場と連携し、駅やまちかど同士の賑わいの連続性を創出。

○フラッグやバナー、サイン、マップ等の作成・設置

・歩行者の誘導、社会実験の周知、雰囲気醸成のためのフラッグやバナー、サイン、マップ等を作成・設置

賑わい創出のイメージ



快適性を高める設え (東京都板橋区)

地元店舗やキッチンカー等の出店 (横浜市)

沿道の子供の遊び場やオープンテラス (竹原市)
出典：街路空間再構築・利活用のプロセス事例集 (国土交通省)